

本学で契約中の電子ブック、電子ジャーナル、データベースなど電子資料の一部は、学外からでも利用できます。 学認またはその他の方法、どちらかをお使いください。

学外利用可能な電子資料	学外 (リモートアクセス)	
	学認	その他の方法
(電子ブック)Maruzen eBook Library	0	個人アカウント登録
(電子ブック)EBSCO eBooks	0	なし
(電子ジャーナル)ACM Digital Library	×	個人アカウント登録
(電子ジャーナル)ACS Core Plus	0	個人アカウント登録+ 機器のペアリング
(電子ジャーナル)APS PROLA	0	個人アカウント登録+ 機器のペアリング
(電子ジャーナル)IEEExplore	0	個人アカウント登録+ 機器のペアリング
(電子ジャーナル) 「Japanese journal of applied physics」	0	Google CASA (Google ScholarにGoogleアカウ ントでログイン)
(電子ジャーナル)Royal Society of Chemistry	0	Google CASA (Google ScholarにGoogleアカウ ントでログイン)
(電子ジャーナル)Science Direct 「Sensors and Actuators A: Physical」	0	学内LANから個人アカウント登録
(電子ジャーナル)Science Direct トランザクション(非購読誌の閲覧)	×	学内LANから個人アカウント登録+LCセンターへ メールで利用申請
(電子ジャーナル)情報処理学会	0	なし
(電子ジャーナル) 電子情報通信学会通信ソサエティ 技報アーカイブ	×	LCセンターへメールで利用申請
(電子ジャーナル)日本建築学会論文等検索システム	×	LCセンターへメールで利用申請
(データベース)ジャパンナレッジLib	0	なし
(データベース)MathSciNet	×	機器のペアリング
(データベース) SciFindern (SciFinder Discovery Platform)	×	個人アカウント登録
(データベース)新建築データ	×	個人アカウント登録
(データベース)官報情報検索Dサービス	×	LCセンターへメールで利用申請

※その他の方法を利用する際は、学内LANに接続された端末(大学常設のパソコンや大学wifiに接続)から 設定してください。

電子資料ごとの設定ガイドを入手する

①電子資料の学外アクセス設定方法は、LCセンターのホームページで公開しています。

LCセンター



https://library.nit.ac.jp/

2025年4月改訂

②LCセンターホームページのメニュー「資料を探す」から、データベース、電子ジャーナル、 電子ブックのいずれかを選択し、出版社一覧を表示させます。

本学で契約している【学内限定】サービスのうち、学外から利用可能なサービスの場合は、 学外利用マニュアルや学外設定ガイドが添付されていたり、サービス内容に記載があります。 内容をご確認頂き、各自設定してください。





学認(GakuNin、学術認証フェデレーション)を使ったアクセス方法

NITアカウントのユーザ名・パスワード、多要素認証アプリ「Microsoft Authenticator」の ワンタイムパスワードを使って学外からアクセスします。 電子資料ごとの個人アカウント登録は不要です。

①各電子資料サイトで表示される「学認(GakuNin)でログイン」「Search for your Institution」 「Institutional Sign In」「JAPAN (GakuNin)federation」などから、 「日本工業大学」や「Nippon Institute of Technology」を選択。□

②Extic認証画面が表示されたら、NITアカウントのユーザ名・パスワード、ワンタイムパスワードを入力。

③uApprove(属性情報送出同意機能)画面が表示されるので、 「同意する」を選択。

